

国際ロータリー 第2780地区

ガバナ一月信

2021年5月号 No.11

2020-2021年度ガバナー 久保田 英男



ロータリーは機会の扉を開く



©Hakkodo

長方盆 薔薇

明治以後は洋花もモチーフとして扱われるようになりました。幅60cmの大きな長方盆ですが、大輪の薔薇を力強い彫りで表現しています。余白の刀痕も薔薇に釣り合うよう、強めのタッチで彫りました。

Rotary
第2780地区

CONTENTS

ガバナメッセージ 2	クラブ紹介 第9グループ 5
最初で最後の公式訪問とコロナ禍の国際奉仕 5月『青少年奉仕月間』	新会員紹介 他 8
『三送会(三年生を送る会)』報告 4	お知らせ 9

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2780 2020-2021

クラブ会長・幹事の皆様、そしてクラブ会員の皆様へ



国際ロータリー第2780地区
2020～21年度ガバナー

久保田 英男

(鎌倉RC)

最初で最後の公式訪問とコロナ禍の国際奉仕

いまさら、公式訪問の話題です。今年の公式訪問では、スライドなどは一切使用せず、ホルガー・クナークRI会長の意向もあり、RIや地区の現状報告や方針説明などより、クラブに寄り添う気持ちで、クラブへの期待や未来についてお話させて頂き、皆様のご意見を伺ったり、質問にお答えしたり、可能な限り対話形式で行うよう心掛けました。IT・デジタルな時代だからこそ、アナログな手法が新鮮だったように思いますし、事前にガバナー補佐が説明頂いたこともあり、訪問するクラブもその趣旨に沿った思い思いの趣向でお迎え頂き、楽しく、また貴重な体験をすることができました。改めて66クラブの皆様、本当にありがとうございました。時期的に3クラブほどオンラインでの訪問になりましたが、あとはこのコロナ禍でありながら「奇跡的」に対面で訪問することが叶いました。自称『晴れ男』。公式訪問では東の間の『晴れ』を呼び込めたのかもしれない。その公式訪問も歴代ガバナーがそうであったように最終はホームクラブでクライマックスを迎え、長かった66クラブの旅を振り返り、安堵と同時に、これで終わりかと思うと少し感傷的な気分にと感じていたら、新クラブが設立されるとの知らせを受け「まだ公式訪問できるぞ」それ幸いと喜んだものの、コロナが再拡大し、その対応に追われ、まるで冒険譚のような毎日に時計の針は無情にもただただ進み4月に…。

なかなか決まらなかったイノベーションゲートウェイ湘南ロータリークラブ(IGS-RC)へ4月17日ついに公式訪問を行いました。このコロナ禍に

誕生した新クラブにお邪魔するのは2回目だったのですが、その2度ともZOOM。これも時代と時期の象徴のようなことであり、そして、IGS-RCにとって最初のガバナー公式訪問は、私にとって最後の公式訪問。しかも、67回の公式訪問で唯一パワーポイントを利用したプレゼンテーションの卓話を行いました。卓話の内容はともかく、その前後に行われた懇談会では、それこそ一度もロータリアンとして直にお会いしたことない方々とモニター越しに会話を交わし、終わってみれば「楽しかった」が率直な感想。IGS-RCの皆様は全員が初めてのロータリーなのに、「ロータリー」という共通点だけで急速に仲良くなれた感触を得られたのには私にとって大きな「驚き」であり「発見」でした。そして、私の拙いアドバイス「どんどん参加しましょう」の言葉に従って(騙されて?)、4月24日に行われたロータリー財団奨学生帰国報告会に参加してくれた幹事の久野さんが、ワクワクした表情で積極的に発言してくれる姿を見ながら、改めてロータリーの持つポテンシャルを肌で感じ、そして若いロータリアンの未来をイメージでき、残り任期2か月、まだまだやる事がたくさん残っていると感じた次第です。「まだ何もわからないので教えて下さい」と謙虚におっしゃる新クラブIGS-RCからインスピレーションを受けることができました。ありがとうございます。

またその前日ですが、厚木県中央ロータリークラブから「是非、例会に来てください」というお誘いがあり訪問して参りました。

その例会のプログラムとは、地区補助金を活用したラオスの病院に付属する農園を支援する活動

「国際奉仕プロジェクト」の報告でした。その概要を簡単に説明します。

その病院では、患者や職員の食料を自給自足しようとするものの、広い農園を持ちながら原始的な農具しか持ち合わせず、農産物を十分に収穫できない状態であるのを知ったメンバーが、耕運機などの寄贈と農業技術を提供する計画でした。が、コロナ禍に見舞われ、訪問できなくなったので、計画を一部変更し、寄贈機材を変更したり、現地で行う予定の技術支援を遠隔指導に切り替えて実施されたのです。耕運機などの使い方などを会員が説明したビデオを収録し現地に送り、その後インターネットを利用し現地と直接質問やアドバイスをを行う、という内容です。

往來が制限される中にありながら、物を贈るだけの一方向的にならず、きめ細かなアドバイスとコミュニケーションを取りながら、全ての会員が参加し、ロータリアン自らが汗をかき、勇気と知恵を出し合って成し遂げた素晴らしい活動内容に感動しました。このコロナ禍における国際奉仕のロールモデルと言えるのではないのでしょうか。「ロータリーの友」2020年12月号にも紹介されていますので、そちらも併せてご覧いただければ何よりです。とにかく「できない」「行かない」とあきらめるのではなく、一日も早く農園での作業につなげたいという熱い思いを実現してしまう厚木県央RCのすごいところです。これからも我がことのようにこの話させていただきます。そして、また新しい情報を楽しみにしています。

今月の月信で9グループの全てのクラブの紹介が完結します。混迷の一年間、長いようで瞬く間の一年になりそうです。クラブや会長、会員の皆様にとって不本意な年だったかもしれません。でもまだ年度は終わっていません。私は厚木県央RCのようにあきらめず「どうしたらできるのか」考え実行し、IGS-RCのように新しい世界に踏み込む少年のような気持ちを大切に「まだ2か月もある」この時間を何倍にも使いたいと思います。

「あと2か月しかない」と思うか「まだ2か月ある」、あなたはどちらでしょうか。

5月『青少年奉仕月間』

またまた私事で恐縮です。今年の誕生日で還暦を迎えました。私が子供のころ、60歳の方は大人の中の大人という印象、貫禄も十分に近づき難い存在に見えていた記憶があります。「何十年も経っ

たら自分もこうなれる」と信じていたのですが…、残念、まだ程遠いようです。

思えば、少年時代から憧れる大人像をもっていただいているように思います。前述の続きになるかもしれませんが、公式訪問でも「かっこいい大人になったかった」の発言を耳にされた方も多いかとおもいます。ファッションであったり、ちょっとした言葉使いの癖や仕草であったり。良いにつけ、悪いにせよ、大人の背中をみながら、それを真似て育ててきたのかもしれない。

「憧れる大人」を見よう見まねで成長した自分。不完全な人間かもしれませんが、少なくとも世の中にご迷惑をかけることもなく、それなりに地域にも、ロータリー活動を通じ、国際社会にも何らかの恩返しができていくわけですし、悪くはないのかな、と。そんな自分になれたのは、「憧れの大人」を持てたおかげ、ということでしょう。

私は幸せなことに憧れの大人に恵まれ、その後ろ姿は、少年青年の私にとって最高の見本であり教材だったということです。それこそが、リアルな青少年奉仕だったと思います。

ロータリーには様々な青少年奉仕プログラムがあります。青少年交換、インターアクト、ローターアクト、ライラなど。米山記念奨学会、ロータリー財団奨学生、平和フェローもそこに含まれるかもしれません。そして、多くのクラブは地域の子供たちに様々なプログラムを提供しています。この全てのプログラムに共通することは、青少年とロータリアンが繋がれる機会であるということ、子供たちが「素敵な大人」と知り合える機会であること、です。そして、ロータリアンも参加すれば感じてもらえると思いますが、子供たちから多くのことを学びます。一方向的な関係ではなく、対等な関係を意識すれば、年齢を超え、友情すら生まれることもあります。

私が憧れた「大人」は皆、それを具現化し実践し、小さな未熟な子供も一人の「人」として接してくれたからこそ、いまその様に思えるのではないのでしょうか。

「寛容」「自然体」、そして無言の「情熱」。青少年奉仕はプログラムの中だけではありません。日々私たちの立ち振る舞い、そのものが青少年育成の第一歩なのです。その美しい後姿を多くの青少年に見てもらうためにも、多くの青少年プログラムに参加して頂きたいと願っています。青少年の機会を扉を開くために。

インターアクト

『三送会 (三年生を送る会)』報告

地区青少年奉仕委員会/インター・ローターアクト委員会

委員長 大野 宏 一

(逗子RC)



国際ロータリー第2780地区インター・ローターアクト委員会では、2021年3月27日にインターアクト卒業生（高校三年生）対象の『三送会（三年生を送る会）』を行いました。例年であれば、3月下旬に行われる「インターアクト一泊研修」の2日目に行われていますが、新型コロナウイルス感染症の影響で、2019～20年度（昨年度）に引き続き、2020～21年度（今年度）の「インターアクト一泊研修」も2年連続で中止となってしまいました。

地区委員会内では、なんとか卒業する三年生アクターに対して何かできないであろうかと議論を重ねていたところ、厚木中ローターアクトクラブ、及び、インターアクト学友会のメンバーより『三送会』の企画運営をやらせてほしい！と連絡を頂きました。

現年度ローターアクター、現年度インターアクト学友会のメンバーには、昨年度インターアクト卒業生も在籍しております。また、インターアクト学友会を卒業してローターアクトに専念しているメンバーも、共に活動した仲間の為に手を挙げてくれたのだと思います。

実行委員会が組織され【実行委員長：竹田翔哉（厚木中RAC）】協議を行い、今回の『三送会』は、zoom環境を利用したフルリモートで、2019～20・2020～21年度（2年度分）を実施することに決まりました。対象卒業生の地区インターアクト活動に携わった歴代インターアクト委員長のご参加も依頼いたしました。

当日、桜の花を添えた画面を背景に、竹田翔哉実行委員長・地区委員長・遠藤滉大ローターアクト地区代表・インターアクト学友会小用悠太会長挨拶。2018～19年度地区インターアクト横山英夫委員長・

2019～20年度地区インターアクト中谷元士委員長メッセージ。そして、2020～21年度（平塚学園高等学校）三枝舞子さん・2020～21年度（県立厚木商業高等学校・DIR）竹田純菜さん・2019～20年度（平塚学園高等学校・DIR）近藤七海さん、3名より卒業生代表の言葉を頂きました。

zoomのブレイクアウトルーム機能を利用した、インターアクター・インターアクト学友会・ローターアクター・ロータリアン・そして2019～20年度インターアクト卒業生を交えてのグループワークを行い、ゲームや意見交流を行いました。

最後には、在校生から卒業生へのビデオメッセージの放映、及び、久保田英男ガバナ（2017～18地区インターアクト委員長）挨拶を頂き、あっという間の約3時間でありました。

本年度地区インター・ローターアクト委員会では、一泊研修・海外研修・年次大会・新世代交流会等、主な事業は中止となりましたが、zoom環境を利用したのアクターズミーティングや、動画をアクターに募集しての企画、リモート卓話、ローターアクト地区大会そしてこの『三送会』のような企画を実施することができました。

インターアクター・インターアクト学友会・ローターアクターも含めた、若い世代との交流や共同、の新しいスタイルがまた1つできたのではないかと考えています。

ご協力、及び、ご参加頂きました、インターアクトクラブ、及び、顧問の先生、そしてインターアクトOGOBの皆様、インターアクト学友会・ローターアクト・ロータリークラブの皆様へ深く感謝いたします。



クラブ紹介

第9グループ

小田原ロータリークラブ

会長 加藤 芳雄

小田原ロータリークラブは、創立66年を迎え、「ロータリーの基本に帰る」をテーマに、この困難な時期に職業奉仕とは、例会とは、会員親睦とは、何ができるのかを互いに考え、実践して行こう。「共に、もっと自由に」例会の在り方を考える活動方針を掲げました。

毎年行っている職業奉仕の理解と実践や、姉妹クラブとの交流親睦、クラブ行事の最大事業である、年末会員家族親睦会もコロナ禍では、刻一刻変化する状況の中、内容変更（最終的には中止）など、かつてない事前の準備に終始しましたが、マスクを外さない会員親睦会として室内でのお花見管弦四重奏コンサートを開催出来ました。奉仕活動の実施が困難な中、幼稚園等への図書寄贈と米山奨学生の受入が出来たことは今年度の明るい成果となりました。

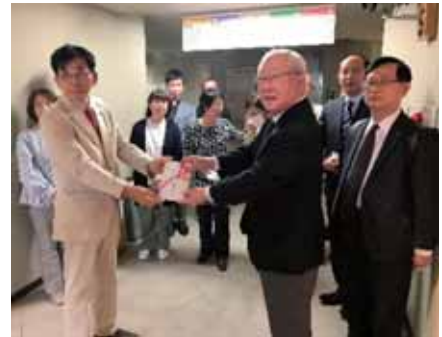
実例会を重視した会運営もリモート例会形式への試行を5回開催しました。新しいロータリー様式を模索し、70周年を迎えるべく歴史あるクラブの在り方にチャレンジしています。



前列右から2人目が奨学生



管弦四重奏の様子



図書寄贈贈呈式の様子

湯河原ロータリークラブ

会長 山本 明峰

湯河原ロータリークラブは会員25名のアットホームな雰囲気、伝統的に親睦第一をモットーにしています。所在地域は湯河原町、真鶴町と静岡県熱海市泉地区で、限られた人口の地域ではありますが、女性会員も3名となり、30代から80代までの幅広い年齢層の和やかなクラブとして、活気あるクラブ運営に努めています。

1962年4月20日に創立した当クラブは次年度に創立60周年を迎えます。2022年3月25日に記念式典を計画しておりますが、感染状況次第の側面があり、詳細は未定です。

10周年記念事業で「椿台」付近に植栽した山紅葉の下草刈りを長年に渡って実施しましたが、役割を終えました。これに代わり、今年度からは、50周年記念事業として寄贈した「湯河原駅入口」交差点の記念モニュメント付近の草刈り、樹木剪定や清掃に、社会奉仕活動として取り組んでいます。これからも70周年、100周年に向けて、様々な事業に取り組んで参ります。



箱根ロータリークラブ

会長 角山俊夫

『ようこそ 箱根へ』

コロナ禍、休会が続く中、我が箱根クラブより、町長が誕生しました。様々な場面で活躍している会員の中、またひとり、私達会員にとっても、頼もしい、喜ばしい御報告となります。4月6日は、久しぶりの例会、会場は、いにしへの趣や意匠はそのままに、リニューアルされた宮ノ下の富士屋ホテルです。会員はお互いの笑顔、無事を確認し、喜び合い、語り合いました。4月13日の例会ではFM小田原の鈴木伸幸社長をお迎えし、幅広い御活躍と気候変動や災害時における防災、東日本大震災時の24時間生放送などを拝聴させていただきました。郷土の日刊紙神静民報にも「箱根ロータリーが例会 FM小田原鈴木氏 災害時とメディアを語る」と掲載され、地域へ活動を広報することができました。例年の奉仕活動、「地元中学生へのテーブルマナー教室」は、中止となりましたが、「ごみゼロキャンペーン」は、5月中旬に実施する予定です。



箱根は東西交通の要として、明治維新、終戦の混乱をも、越えてまいりました。4月28日には、箱根町と南足柄を連絡する南箱道路、「はこね金太郎ライン」も、開通し、東名、南足柄にアクセスが良くなります。緑の自然と温泉の街、美術館も多く芸術をも満喫できる憩いの町、箱根です。皆様をお待ちしています



コロナ禍 地域へ協力
箱根ロータリーが例会
FM鈴木さん 災害時とメディアを語る

伸幸社長、災害時の地域メディアの役割などを語った。
この日の例会には同クラブメンバー約30人が出席、新型コロナウイルス感染症の感染予防策を徹底した上で昼食を取りながらお互いの親睦を深めた。この日のメニューは、シェフドカレ、デザートなど。
あいさつに立った藤保副会長は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に恐れ、「世界各地のロータリークラブは地元でのワクチン接種を支援している。箱根町

神静民報2021年4月16日号

小田原北ロータリークラブ

会長 伊東昌彦

小田原北ロータリークラブは今年4月、お陰様で創立55周年を迎えることができました。

当クラブは、1966年（昭和41年）4月6日、小田原ロータリークラブをスポンサークラブとして、神奈川県で33番目、日本で733番目のロータリークラブとして発足しました。

以来、半世紀が過ぎ、私達を取り巻く世界は昨年から続くコロナ禍により、大きく変わりましたが、奉仕の理想は少しも変わることなく脈々と受け継がれていかななくてはなりません。

私達は地域の方々やロータリーの方々へ感謝を込めて今何が出来るのかを考え、そして実行して参りました。経験したことのない困難が続いておりますが、創立55周年を迎え、気持ちを新たにこれからの50年も奉仕の理想と共に、笑顔が溢れる社会であるよう願っております。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



クラブ紹介

第9グループ

小田原城北ロータリークラブ

会長 上田 博和

小田原城北ロータリークラブは今年45周年を迎え、現会員は42名となります。40代前半の会員が増え、若手が増えたことでクラブがより楽しく活性化してきました。今年は「増強10名」を掲げており、あと残すところ3カ月となりましたが目標達成に向けて会員一丸となって取り組んでおります。

そして小田原城北ロータリーは小田原市内でも西部に位置するクラブで、小田原市の衛人である二宮金次郎の生家のエリアでもあり、卓話や活動に関しても「二宮金次郎の精神」を軸に行っております。近年はプラスチックゴミゼロ運動などの環境問題についての啓蒙活動を行っております。また第9グループの中で唯一ロータクトを持っているクラブでもあり、アクトを通じて若者達とも交流や事業を共にしております。

最後になりますが、私の感じる我がクラブはベテラン会員と若手会員のバランスの大変良いクラブであり月に一度は夜間例会を開催し親睦活動も大変盛り上がっております。ロータリークラブの必要性を問われる時代ではありますが、地域に必要とされるクラブとして50年、100年と続くクラブを目指して参ります。コロナで休会していただいた時期もありましたが、3月23日(火)の例会には多くの会員が参加して頂きました。今後もより一層クラブの活性化を進めていきたいと思っております。



小田原中ロータリークラブ

会長 立川 公一

小田原中ロータリークラブは、1980年（昭和55年）に小田原ロータリークラブをスポンサーとして第9グループの6番目のクラブとして誕生し、今年度で41年目となります。現在49名（内女性会員5名）の会員が在籍しています。30代から80代までの幅広い年齢層の会員が親しく活動しているクラブです。

例年、奉仕活動の取り組みとして三つの活動を行っております。国際奉仕委員会では、小田原市が実施している「ときめき国際学校」に協力しオーストラリアからの留学生の文化交流事業の支援を行っております。また社会奉仕委員会では小田原市障害児通園施設「つくしんぼ教室」の運動会のお手伝いをしています。そして職業奉仕委員会では職業を通じて地元社会に奉仕している人々を「優良職業人」として表彰しています。コロナ禍の影響で本年度は「優良職業人」表彰のみとなりました。

新しい形のクラブのあり方や奉仕活動を真剣に考えて行かなくてはいけない時期が来ているのかもしれませんが、恐れず、しかし慎重に小田原中ロータリークラブらしい活動を進めていきたいと思っております。



足柄ロータリークラブ

会長 山本 研一

足柄ロータリークラブは第9グループの中で最も歴史の浅いクラブですが、2020年に創立30年の節目を迎えました。

当クラブは2007年4月より継続事業として、青少年育成プログラム"水源の森を訪ねて"と名付け、青少年たちに水の大切さ、自然資源の大切さを自らの体験で知ってもらうため、



例会

地元の中学生と一緒に水源にブナの木を植樹し、水源を守り自然環境の保護に努めています。2017~18年度には植樹のさらなる充実を目指して地区から補助金を頂き土壌改良の工事を行いました。改良後初めての植樹には当時の大谷ガバナー、久保田現ガバナーをはじめ地区役員の皆様などにも参加を頂き意義ある活動ができました。コロナ禍で残念ながら昨年度の植樹は中止を余儀なくされましたが、今後もこの活動を中心に会員自らが汗を流し、地域の奉仕活動に貢献していきたいと考えています。



水源の森

YouTube URLのお知らせ

2020~2021年度職業奉仕委員長 秋山 純夫 (秦野RC)

地区職業奉仕委員会では、今年は新型コロナウイルス感染状況を鑑み、皆様の会場での感染リスクを避けるため、委員を派遣する方法ではなく、動画配信で卓話を実施させていただきました。卓話DVDは既に各クラブへお送りさせていただきましたが、地区ホームページに職業奉仕委員会のYouTubeチャンネルの登録が完了いたしましたのでお知らせいたします。ロータリー活動も制限される日々が続いておりますが、皆様にご活用いただけましたら幸いです。

【地区ホームページ 職業奉仕委員会】 https://rid2780.gr.jp/rotarians/committee_introductions/vocational_service/index.html
(地区ホームページ クイックアクセス>すべての会員の方へ>各委員会の紹介>職業奉仕委員会)

新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



かきぎ ひでふみ
笠木 英文
①横須賀
②2021. 04. 02
③絵画販売
④小沢一彦



つばき わか
椿 和香
①横須賀
②2021. 04. 02
③土木業
④小佐野圭三
小林康記



こばやし たくや
小林 拓也
①茅ヶ崎中央
②2021. 04. 06
③運輸 貨物運送取扱業
④當間安弘



わたなべ ひさお
渡辺 久夫
①茅ヶ崎中央
②2021. 04. 06
③塗装業
④嵯峨野貴央



かがわ たけし
香川 健
①相模原
②2021. 04. 08
③ガス供給
④新倉 裕



すがま ひさし
菅沼 久志
①平塚
②2021. 04. 08
③銀行業
④成瀬正夫、
清水雅広



みやた ゆきお
宮下 幸雄
①平塚
②2021. 04. 08
③旅行業
④升水一義



ほりかわ としき
堀川 敏毅
①横須賀
②2021. 04. 09
③税理士
④岡田英城



あいかわ しゅういち
相川 昇一
①小田原
②2021. 04. 12
③金融業
④穂坂 肇



いちかわ まさのり
市川 雅範
①平塚
②2021. 04. 15
③金融業
④升水一義



ふわ としき
不破 俊幸
①相模原
②2021. 04. 19
③銀行業
④新倉 裕



おだしま けい
小田島 圭
①小田原
②2021. 04. 19
③証券業
④加藤芳雄

新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



かない ひでし
金井 秀樹
①横須賀北
②2021.04.20
③銀行
④前川永久



かとう ひろし
加藤 浩
①藤沢
②2021.04.21
③証券業
④野口捷代



わだ ひでし
和田 秀昭
①藤沢
②2021.04.21
③信託銀行
④野口捷代

訃報 ご冥福をお祈り致します



杉本 行廣 (茅ヶ崎)

2021年3月23日逝去 (享年85歳)

1972年5月25日 入会
茅ヶ崎RC 第28年度 会長
1993~94年度 第4分区 分区代理
マルチプル・ボール・ハリスフェロー6回/第4回米山功労者



おがさわら いきお
小笠原 勲 (平塚)

2021年4月2日逝去 (享年88歳)

1977年11月10日 入会
1999~00年度 クラブ会長(第44年度)
第7回米山功労者
マルチプル・ボール・ハリスフェロー



おざわ ふみひろ
小澤 文洋 (かながわ湘南)

2021年3月31日逝去 (享年55歳)

2009年12月12日 入会
2015~16年度 クラブ幹事



Rotary コーディネーター 2021年5月号
Region 1 & 2 & 3 NEWS

『さあ、手を取り合って行動しよう!』

『世界を変える行動人』である私たちのミッションは、ビジョン声明にあるように、持続可能なよい変化を生むために行動することです。ビジョン声明の英文はTogether, we see a world where people unite and take action to create lasting change across the globe, in our communities, and in ourselves.です。文頭に注目してみると、Together (一緒に)という単語が始まっています。日本語訳の中でTogetherは「わたしたち」「人々が手を取り合って」という文で表現されているのかと思います。

では、「わたしたち」とはだれを指すのでしょうか。まずロータリアンです。それだけでいいのでしょうか?そこにはローターアクターを始め、ロータリーの奨学生や学友といったローターファミリーのみなさんの存在があります。地域社会の方々もいます。そして、ロータリアンの家族の方々もいます。「わたしたち」の幅が広がれば広がるほど、手を取り合って、共に行動する仲間が増えます。

以前、雑誌The Rotarian (現在の雑誌Rotary)で、食料が不足して困っているアメリカの田舎町で行われた奉仕活動の記事を読んだことがあります。週末になると、ロータリアンと地域の子供たちはバスで農園に出かけます。

農家の人たちの協力を得て、種の撒き方や苗の育て方を習い、子供たちは農作業に取り組みます。週末に定期的に農園に通って、作業をし、農作物の成長の過程を見て学びます。収穫の時が来ると感謝して刈り取り、必要としている人々に届けます。最初は小さなプロジェクトでしたが、運搬の車を出す人、肥料を提供する人、土地を提供する人などが加わっていき、ついには市を上げての大プロジェクトとなり、この町では食糧難に苦しむ人がいなくなったという話でした。

私たちが現在行っている奉仕活動の中に、あるいはこれから取り組もうとしている奉仕活動に、地域の人々やローターファミリーを巻き込んで一緒に活動できるものがないでしょうか。ロータリーの活動に参加して、手を取り合って一緒に行動してみることが、ロータリーを知り、理解していただく何よりの機会になるように思います。おそらくこれがロータリーの公共イメージ向上への一番の近道と言えるかもしれません。その結果として、ロータリアンの仲間が増えていき、奉仕の扉は私たちの前にさらに大きく開かれるでしょう。

第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター
服部 陽子 (東京広尾RC)

『会員増強 MISSION POSSIBLE』

コロナ禍に乗じて、「THE ROTARY MOTIVATION」(A4判160頁)という標題のテキストを作りました(「ロータリーの友」4月号42頁参照)。会員増強や組織課題についても若干の模索を試みていますので、それを基に以下の通りまとめさせていただきました。

●ネットネイティブ世代がやってくる

私たちの子どもや孫のような世代がロータリーを担っていく時代になる日もそう遠くないと感じるようになってきました。義理人情を絡めた会員増強策が、ネットネイティブな若年層や女性層に対して通用していくでしょうか。今のロータリアンはブーマー世代が中心ではないかと思いますが、それに続くミレニアル世代(Y世代)やZ世代の思考や感性の違いを理解しないと、彼らを入会や在籍に結びつけられるのか疑問です。世代の空白をつくらないように、年齢バランスのとれたクラブ会員構成を保ち続けていくことが重要になると思います。若年層会員の増強は世代交代につながります。

●日本の女性会員比率は世界最下位レベル

「THE ROTARY MOTIVATION」の特別編集として、新規に作成した「ロータリーと女性」という標題のテキスト(パワーポイント版10頁)を別添付します。女性会員増強に向けたセミナーや例会などで、どなたでも自由に使うことができます。一部をご紹介しますと、S-05頁は、ロータリー存在国別の女性ロータリー会員比率を整理したデータです。日本のロータリー会員総数は世界で上位3番目であるのに対して、女性ロータリー会員比率は世界で下位3番目となっています。最下位の二国は国土も人口も僅かなので、日本は実質的に最下位と言っても良いような状態だということがわかります。日本の女性ロータリー会員比率が約7%だという認識はあっても、世界の中でのポジションについては、あまり認識されていないかもしれません。

●MISSION POSSIBLE

会員増強は、クラブあるいは会員個人が、自身の問題として意識を定着化していくことが始まりだと思います。地域社会に向けた奉仕活動しようという際でもポリオを根絶しようという際でも、問題意識がなかったら戦略も行動も何も起こらないでしょう。目先の会員維持対応も危機感に満ちた課題ですが、会員増強の手法自体を戦略的に位置づけていくことが不可欠だと思います。特に若年層や女性の増強を考えた時には、上述したようなデータを読み解いて、自分たちに可能な作戦(MISSION POSSIBLE)を計画していくこと、そこから先は熱いハートに切り替えて取り組むことが必要になると思います。そして常に、プロセスや結果を検証していくという蓄積も忘れてはならないと思います。

第2地域 ロータリーコーディネーター補佐
関 邦則 (長野RC)

第2780地区 2021年3月末 会員数

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数									
			3月末		年 初 7月1日		本年度 入会者		本年度 退会者		本年度 増減	
			男 合計	女 合計	男 合計	女 合計	男 合計	女 合計	男 合計	女 合計	男 合計	女 合計
1	横 須 賀	1	115	12	112	12	7	0	4	0	3	0
	横 須 賀 北	1	19	4	22	4	0	0	3	0	-3	0
	三 浦	1	29	1	28	1	3	0	2	0	1	0
	横 須 賀 西	3	14	0	14	0	0	0	0	0	0	0
	横 須 賀 南 西	5	13	0	14	0	0	0	1	0	-1	0
	計		190	17	190	17	10	0	10	0	0	0
2	鎌 倉	2	81	13	81	13	2	0	2	0	0	0
	逗 子	4	45	4	49	4	1	1	5	1	-4	0
	鎌 倉 大 船	1	16	0	14	0	2	0	0	0	2	0
	葉 山	1	23	4	23	3	1	1	1	0	0	1
	鎌 倉 中 央	1	21	4	20	4	3	0	2	0	1	0
	計		186	25	187	24	9	2	10	1	-1	1
3	藤 沢 沢	2	42	13	43	12	3	1	4	0	-1	1
	藤 沢 西	1	20	1	20	1	0	0	0	0	0	0
	藤 沢 北	1	7	2	8	2	1	1	2	1	-1	0
	藤 沢 東	3	32	8	31	7	2	1	1	0	1	1
	藤 沢 北 西	2	12	0	13	1	0	0	1	1	-1	-1
	藤 沢 南	1	39	7	38	7	1	0	0	0	1	0
	ふじさわ湘南	5	34	1	34	1	0	0	0	0	0	0
	かながわ湘南	3	24	14	25	14	0	0	1	0	-1	0
	アーカス湘南	5	4	2	4	2	0	0	0	0	0	0
	イノベーション湘南	2	25	1	0	0	25	1	0	0	25	1
計		239	49	216	47	32	4	9	2	23	2	
4	茅 ヶ 崎	4	39	5	41	5	0	0	2	0	-2	0
	寒 川	2	30	1	30	1	1	0	1	0	0	0
	綾 瀬	1	35	0	33	0	2	0	0	0	2	0
	茅 ヶ 崎 湘 南	1	44	1	45	1	1	0	2	0	-1	0
	茅 ヶ 崎 中 央	1	47	2	47	2	0	0	0	0	0	0
	綾 瀬 春 日	1	24	1	22	0	2	1	0	0	2	1
計		219	10	218	9	6	1	5	0	1	1	
5A	相 模 原	4	69	5	69	5	4	0	4	0	0	0
	相模原グリーン	0	52	5	54	5	0	0	2	0	-2	0
	津 久 井 中 央	2	21	4	19	4	2	0	0	0	2	0
	相 模 原 橋 本	2	58	7	57	7	3	0	2	0	1	0
	相模原ニューシティ	2	42	5	41	5	1	0	0	0	1	0
5B	相 模 原 南	4	49	7	51	7	1	0	3	0	-2	0
	相 模 原 中	4	28	3	29	3	0	0	1	0	-1	0
	相 模 原 西	3	48	6	51	6	1	0	4	0	-3	0
	相 模 原 東	2	17	3	19	2	3	1	5	0	-2	1
	相 模 原 柴 胡	1	27	3	27	3	0	0	0	0	0	0
	相模原かめりあ	2	27	27	27	27	0	0	0	0	0	0
計		438	75	444	74	15	1	21	0	-6	1	

厚 木	2	39	2	42	2	1	0	4	0	-3	0
大 和	2	33	5	34	5	1	0	2	0	-1	0
座 間	4	31	1	26	1	5	0	0	0	5	0
大 和 中	1	27	1	27	1	0	0	0	0	0	0
厚 木 中	2	24	1	24	0	3	1	3	0	0	1
大 和 田 園	3	31	2	31	2	0	0	0	0	0	0
海 老 名	2	53	4	48	5	7	0	2	1	5	-1
海 老 名 樺	0	36	5	36	5	0	0	0	0	0	0
厚 木 県 央	3	38	4	38	4	0	0	0	0	0	0
本 厚 木	1	35	4	38	4	0	0	3	0	-3	0
計		347	29	344	29	17	1	14	1	3	0
秦 野	2	49	6	49	6	0	0	0	0	0	0
伊 勢 原	2	52	3	53	5	1	0	2	2	-1	-2
秦 野 中	2	40	1	38	1	2	0	0	0	2	0
伊 勢 原 中 央	1	12	0	12	0	0	0	0	0	0	0
秦 野 名 水	4	16	7	16	7	0	0	0	0	0	0
伊 勢 原 平 成	4	19	0	19	0	0	0	0	0	0	0
計		188	17	187	19	3	0	2	2	1	-2
平 塚	1	62	4	62	4	2	0	2	0	0	0
大 磯	0	16	2	16	3	1	0	1	1	0	-1
平 塚 北	1	39	5	35	5	5	0	1	0	4	0
二 宮	0	8	2	9	2	0	0	1	0	-1	0
平 塚 西	2	30	1	30	1	1	0	1	0	0	0
平 塚 南	2	16	3	19	3	0	0	3	0	-3	0
平 塚 湘 南	1	44	6	42	6	2	0	0	0	2	0
計		215	23	213	24	11	0	9	1	2	-1
小 田 原	1	63	2	66	2	1	0	4	0	-3	0
湯 河 原	2	25	3	24	1	3	2	2	0	1	2
箱 根	0	38	2	39	2	1	0	2	0	-1	0
小 田 原 北	4	33	4	36	5	0	0	3	1	-3	-1
小 田 原 城 北	2	42	3	39	2	4	1	1	0	3	1
小 田 原 中	0	49	5	50	6	1	0	2	1	-1	-1
足 柄	1	18	1	18	1	2	0	2	0	0	0
計		268	20	272	19	12	3	16	2	-4	1
総 計		2,290	265	2,271	262	115	12	96	9	19	3

地区内クラブ	地区内会員総数(人)
67	2,290 (265)

()内は女性会員

本年度入会者数(人)	本年度退会者数(人)	本年度会員数増減数(人)
115 (12)	96 (9)	19 (3)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2780

2020~2021 Governor
Hideo Kubota

■OFFICE / Aizawa Bldg. #1, 5F,
22-7-501 Minami-Fujisawa,
Fujisawa-city, Kanagawa
251-0055 JAPAN
Tel: +81-466-25-8855 Fax: +81-466-25-8866



ロータリーは機会の扉を開く

2020~2021年度ガバナー
久保田 英男

■事務所 / 〒251-0055
藤沢市南藤沢22-7-501 第一相澤ビル5階
Tel: 0466-25-8855 Fax: 0466-25-8866
E-mail: g-office@rid2780.gr.jp
URL: https://rid2780.gr.jp